

地域が一体となり和田宿を継承し、ふる里を元気にする事業

取組に至る背景・事業の目的

- 例年お盆の期間中に開催する「ふる里和田宿宿場まつり」を盛り上げるため、平成 21 年から灯籠設置を始めたところ、大変好評を得、地域住民の祭りへの参加につながった。
- 「和田宿宿場まつり」への参加者の一層の増加を図り、地域コミュニティの活性化、地域の伝統文化・行事の継承を目指す。
- 会の活動拠点を設け、会の活動を更に継続発展させるとともに、地域住民のコミュニティの場として開放するなど、地域の活性化を図る。

事業内容

- 「ふる里和田宿宿場まつり」の開催 (写真上)
第 27 回「ふる里和田宿宿場まつり」を平成 23 年 8 月 13 日から 16 日までの 4 日間開催した。
開催にあたっては、地域住民との灯籠設置を継続し、地域外への情報発信を充実させるため WEB サイトを開設した。また、みこしの担ぎ手と江戸時代の衣装を着て旧中山道を歩く「時代行列」の参加者を公募するなど、地域住民と観光客がともに参加して楽しむ祭りとなった。
- 活動拠点「米屋鐵五郎本舗」の設置 (写真中・下)
手づくりで、
・旧 J A 店舗の改修
・常夜灯 (大 1 基、小 2 基) の制作
を行い、活動拠点「米屋鐵五郎本舗」を設けた。



【ふる里和田宿宿場まつり】



【「米屋鐵五郎本舗」改修作業】

事業効果

- 「和田宿宿場まつり」への住民参加は前年比 30%以上の増加、観光客も前年より増加となり、地域活性化に寄与した。
- 「和田宿宿場まつり」の開催や伝統技術の講習等を通じて、地域住民の伝統文化・行事を継承していく意識の向上が図られた。
- 「米屋鐵五郎本舗」の設置は、会の活動拠点のみならず、地域住民のコミュニティの場として活用され、今後は観光客の利用も見込まれる。



【活動拠点「米屋鐵五郎本舗」】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 「和田宿宿場まつり」の灯籠の制作では中学校の学習カリキュラムに組み込むほか、保育園、小学校をはじめ、多くの地元住民の参加を促進した。
- 「米屋鐵五郎本舗」を伝統工芸品の展示スペースとして開放、特産品づくり等で活用していく。
- 「和田宿宿場まつり」の充実を図るとともに、和田宿の街並みを保全することにより地域活性化を図る。
- パンフレット、和田宿の復元図の作成などにより、地域の活性化のための計画を進めていきたい。

【選定のポイント】

地域住民と協働で「和田宿宿場まつり」に取り組み、地域の活性化に寄与するとともに、WEB サイトを開設することにより、観光客の増加につながった。また、手づくりで活動の拠点づくりを行い、「米屋鐵五郎本舗」を設けた。わら細工等の技術の伝承や、地域住民のコミュニティの場として今後の活用が期待できる。

団体名	和田のあしたー住みよいふる里を考 える会 (長和町)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	事務局 長井武雄	事業費	2, 129, 691円
ホームページ	http://www.wadajuku.com	支援金額	1, 777, 000円